

本資料は、報道機関向け発表資料を転載したものです。商品ご購入のご検討にあたっては、必ず「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)兼 商品パンフレット」「ご契約のしおり/約款」等をご覧ください。



News Release

報道関係者各位
2015年8月31日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK: 945

マニユライフ生命、 『未来につなげる終身保険』を福岡銀行、熊本銀行、親和銀行で販売開始

～増やしてのこせる、払い込んだ保険料を上回る保障が一生続く一時払終身保険～

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼 CEO: ギャビン・ロビンソン、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、2015年9月1日より、通貨選択型一時払終身保険(ペットネーム: 『未来につなげる終身保険』)を株式会社福岡銀行(代表取締役頭取: 柴戸隆成)、株式会社熊本銀行(代表取締役頭取: 竹下英)、株式会社親和銀行(代表取締役頭取: 吉澤俊介)を通じて販売いたします。

『未来につなげる終身保険』は、少しでも多くの資産を安心してご家族にのこしたいというお客様の相続ニーズにお応えするために開発した、一時払終身保険です。同商品は、2014年8月の発売開始以来、12行の金融機関で順調に売り上げを伸ばしており、新たに上記三行での取り扱いが開始されます。

死亡・高度障害の場合にお支払いする保険金額は、払い込んだ保険料を契約時から上回ります。選択いただいた通貨に応じた積立利率で運用するため、魅力的な金利の通貨をお選びいただくことで、より高い死亡保障が得られます。既に外貨をお持ちの方には、それを保険料のお払込みにご活用いただくこともできます。契約日の積立利率を終身にわたって適用し、死亡・高度障害の保険金額を一生保証する、シンプルで分かりやすい内容の商品です。

『未来につなげる終身保険』の特徴 (別紙参照)

1. のこすために活用できる保険

- 死亡・高度障害の場合のお支払いの基準となる基本保険金額^{*1}として、契約当初から一時払保険料を上回る金額が、一生にわたって保証されます。
- 終身にわたって契約日の積立利率^{*2}が適用されます。
- 契約通貨は、米ドル、豪ドルまたは円のいずれかから選択できます。
- 契約通貨が米ドルまたは豪ドルの場合、保険料を多彩な通貨(円、米ドル、豪ドル、ユーロ、ニュージーランドドルの5種類の通貨)から選択してお払い込みいただけますので、既に持ちの外貨もご活用いただけます。

2. 簡単な告知方法

- わかりやすい2段階の簡単な告知^{*3}でお申し込みいただけます。

3. 健康相談等の付帯サービス



- マニュアル生命の業務提携先であるティーベック株式会社が提供する付帯サービス『こころとからだの健康サポート メディカルリリーフ』*4 をご利用いただけます。日常の病気やケガに対するご相談や、日本を代表する医師(総合相談医)によるセカンドオピニオンのサービスがご利用いただけます。

- *1 一時払保険料や契約日の積立利率、被保険者の契約年齢および性別等に基づいて、マニュアル生命の定める方法で計算されます。
- *2 積立利率は、マニュアル生命の定める所定の指標金利に基づき、原則として毎月2回(1日と16日)設定され、契約日に設定されている積立利率が終身にわたって適用されます。
- *3 告知項目にすべて当てはまらない場合でも、職業・体格等によっては、お引き受けできないことや特別な条件をつけてお引き受けすることがあります。基本保険金額と一時払保険料の差額が告知書扱の加入限度額を超える場合は、医師による診査や健康診断書のご提出および専用の告知書による告知が必要になります。
- *4 ティーベック株式会社の主力サービスである「ドクターオブドクターズネットワーク」であり、マニュアル生命では専用のサービス名称『こころとからだの健康サポート メディカルリリーフ』として提供しています。

マニュアルについて

マニュアル生命は、マニュアル・ファイナンシャル・コーポレーション(マニュアル)のグループ企業です。

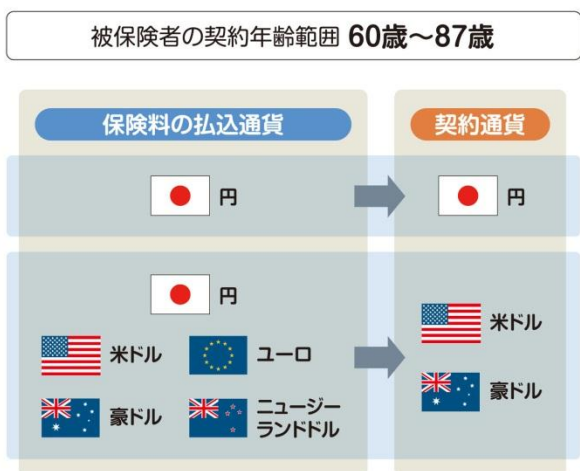
マニュアル・ファイナンシャル・コーポレーションは、世界有数の大手金融サービスグループです。米国においてはジョン・ハンコックのブランドで、その他の地域ではマニュアルとして事業を行い、お客様の資金や金融面における重大な決断をサポートする先進的なソリューションをご提供しています。マニュアルは個人・団体・機関投資家のお客様向けに、ファイナンシャル・アドバイスや保険、資産運用・形成のための商品やサービスをご提供しています。2014 年末現在、マニュアルは世界中で 28,000 人の職員と 58,000 人のエージェントおよび数千の販売パートナーを擁し、2000 万人のお客様に商品やサービスをご提供しています。マニュアルの管理運用資産は、2015 年 6 月 30 日現在およそ 8,830 億カナダドル(7,080 億米ドル)です。また、過去 1 年の間にお客様にお支払いした保険金、給付金および利息は 220 億カナダドル超となりました。

マニュアルは主にカナダ、米国、アジアで 100 年以上にわたって事業を展開しています。カナダのトロントに本拠を置き、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。詳細はウェブサイト(www.manulife.com または www.johnhancock.com) をご覧ください。



<別紙 1>

【イメージ図】



契約初期費用
(3.50～9.80%)を
控除

一時払保険料

契約日

基本保険金額
*1

死亡・高度障害に対する保障が**一生継続**します。

例 70歳男性 各契約通貨の積立利率が、円:年0.80%/米ドル:年2.70%/豪ドル:年3.40%の場合

円	米ドル	豪ドル
一時払保険料の 約 1.07倍 *2	一時払保険料の 約 1.28倍 *2	一時払保険料の 約 1.39倍 *2

*2 一時払保険料に対する基本保険金額の倍率です。解約した場合の解約返戻金額の倍率ではありません。

契約通貨が米ドル・豪ドルの場合も、
保険金を円でお支払いすることができます(円支払特約B型)。

*1 基本保険金額は、死亡・高度障害保険金をお支払いする際に基準となる金額です。一時払保険料や契約日の積立利率、被保険者および性別等に基づいて、マニユライフ生命の定める方法で計算されます。具体的な金額については「**設計書**」
*2 一時払保険料に対する基本保険金額の倍率です。解約した場合の解約返戻金額の倍率ではありません。
*3 契約日からその日を含めて20年を経過する日または被保険者の年齢が90歳となる契約応当日の前日までのいずれか短い期間



● 契約通貨が米ドル・豪ドルの場合、為替リスクがありますので、保険金等を保険料の払込通貨で換算した場合の金額が、契約時にお払い込みいただいた金額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

● この保険は、契約初期費用が控除されます。また、市場価格調整適用期間*3中に解約した場合、市場価格調整が適用されるため、解約返戻金額が一時払保険料を下回る可能性があります。

*3 契約日からその日を含めて20年を経過する日または被保険者の年齢が90歳となる契約応当日の前日までのいずれか短い期間

この保険にかかる費用は次の通りです

この保険にかかる費用は、契約初期費用および保険関係費の合計額となります。そのほか、契約通貨として外貨を選択されたときは、外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用がかかる場合があります。

契約初期費用

- 契約日に一時払保険料から契約初期費用が控除されます。契約初期費用は、契約年齢*および契約通貨に応じた下表の割合を一時払保険料に乗じた金額となります。

目的	契約年齢*	契約通貨		
		円	米ドル	豪ドル
保険契約の締結に必要な費用	70歳以下	4.00%	9.80%	9.80%
	71歳～79歳	3.75%	9.50%	9.50%
	80歳以上	3.50%	8.90%	8.90%

* 年増法による特別な条件をつけてご契約を引き受けする場合は、被保険者の契約年齢に年増年数を加えた年齢とします(※)。

※ ご契約の引き受けにあたり、被保険者の健康状態等により特別な条件をつける方法のひとつです。この場合、被保険者の実際の契約年齢にマニユライフ生命の定める年数(年増年数)を加えた年齢に基づいて、契約初期費用、基本保険金額および積立金を計算します。

保険関係費

- **保険契約の維持等に必要な費用**

積立利率を設定する際に保険契約の維持等に必要な費用をあらかじめ差し引きます。

- **死亡保障および高度障害保障に必要な費用**

積立金の計算に際して死亡保障および高度障害保障に必要な費用を控除します。

※ 保険関係費は、契約年齢・性別等によって異なるため、一律には記載できません。

契約通貨が米ドル・豪ドルの場合

外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用

- 一時払保険料を外貨でお払い込みいただく際には、取扱金融機関への振込手数料をご負担いただく場合があります(くわしくは取扱金融機関にご確認ください)。
- 保険金等を外貨でお受け取りの際には、金融機関により手数料(リファイティングチャージ等)をご負担いただく場合があります(くわしくは取扱金融機関にご確認ください)。
- 次の①の場合、保険料の払込通貨を下表の為替レートをを用いて契約通貨に変更しますので費用が発生します。なお、保険料の払込通貨の対顧客電信売買相場の仲値(TTM)*との差額は、為替手数料として通貨交換時にご負担いただきます。
また、②および③の場合、下表の為替レートと対顧客電信売買相場の仲値(TTM)*との差額は、為替手数料として通貨交換時にご負担いただきます。

- ①「保険料米ドル入金特約B型」等を付加し、一時払保険料を契約通貨と異なる外貨でお払い込みいただく場合
- ②「保険料円入金特約B型」を付加し、一時払保険料を円でお払い込みいただく場合
- ③「円支払特約B型」を付加し、保険金等を円でお支払いする場合

* 対顧客電信売買相場の仲値(TTM)は、マニユライフ生命が指標として指定する金融機関が公示する値とします。

項目	契約通貨	
	米ドル	豪ドル
① 「保険料米ドル入金特約B型」等の為替レート	(契約通貨のTTM) ÷ (保険料の払込通貨のTTM - 50銭)	
② 「保険料円入金特約B型」の為替レート	契約通貨のTTM + 50銭	
③ 「円支払特約B型」の為替レート	契約通貨のTTM - 1銭	契約通貨のTTM - 3銭

※平成27年9月現在。外貨のお取り扱いによりご負担いただく費用は、将来変更されることがあります。

この保険にはリスクがあります

■解約返戻金額が一時払保険料を下回る可能性について

この保険は、契約時に一時払保険料から契約初期費用が控除され、また、市場価格調整適用期間中は解約返戻金額に市場金利に応じた運用資産(債券等)の価格変動を反映させます(市場価格調整)。したがって、**解約返戻金額が一時払保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。**

契約通貨が米ドル・豪ドルの場合

■為替リスクについて

契約通貨として外貨を選択されたときは、保険料の払込通貨と契約通貨が異なる場合や、保険料の払込通貨と保険金等をお支払いする通貨が異なる場合等に、為替相場の変動による影響を受けます。したがって、**保険金等を保険料の払込通貨で換算した場合の金額が、契約時にお払い込みいただいた金額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。**為替相場の変動に伴うリスクは、契約者または受取人が負います。なお、為替相場の変動がなかった場合でも、為替手数料分のご負担が生じます。



ご注意ください